

①全体概要

施設の老朽化の状況と、
長期の廃棄物保管が必要である
状況を鑑み、次の対策を計画

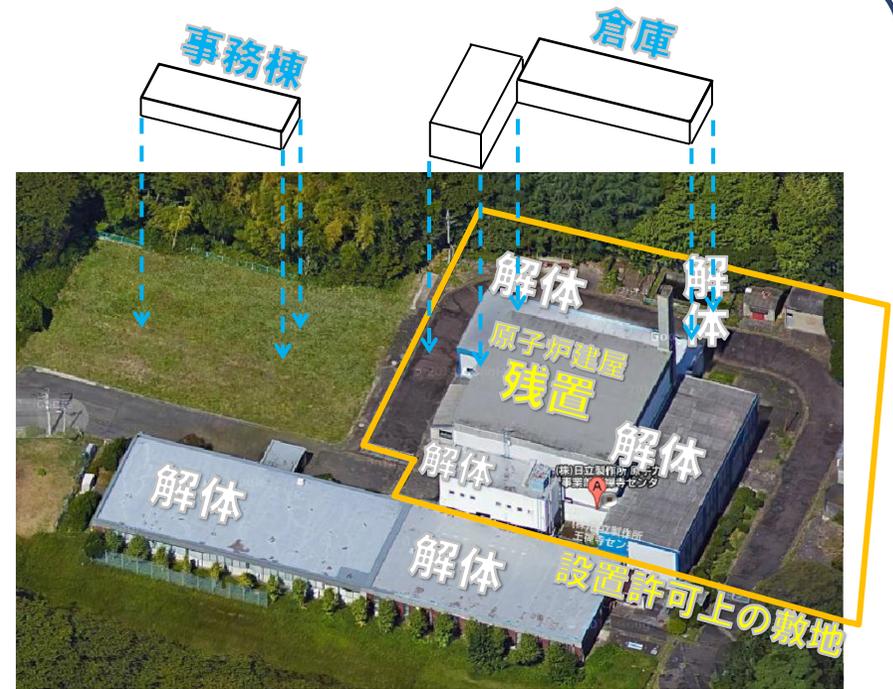
(2022年度をもって完了予定)

■解体2及び第4、第5倉庫設置等の概要

- ① 排気筒、希釈槽、準備室他を解体
- ② 第4、第5倉庫を設置
- ③ ドラム缶等の腐食リスク低減のため、容器の二重化を実施
- ④ 原子炉建屋に保管中の廃棄物を第4、第5倉庫に移動

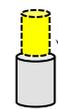
(以上①～④を老朽化対策と称す)

- ⑤ 原子炉室内埋設配管等の解体
- ⑥ 将来行う原子炉本体解体(解体3)の検討を行うため、汚染状況の調査を実施

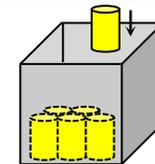


老朽化対策の全体概要

【容器の二重化】



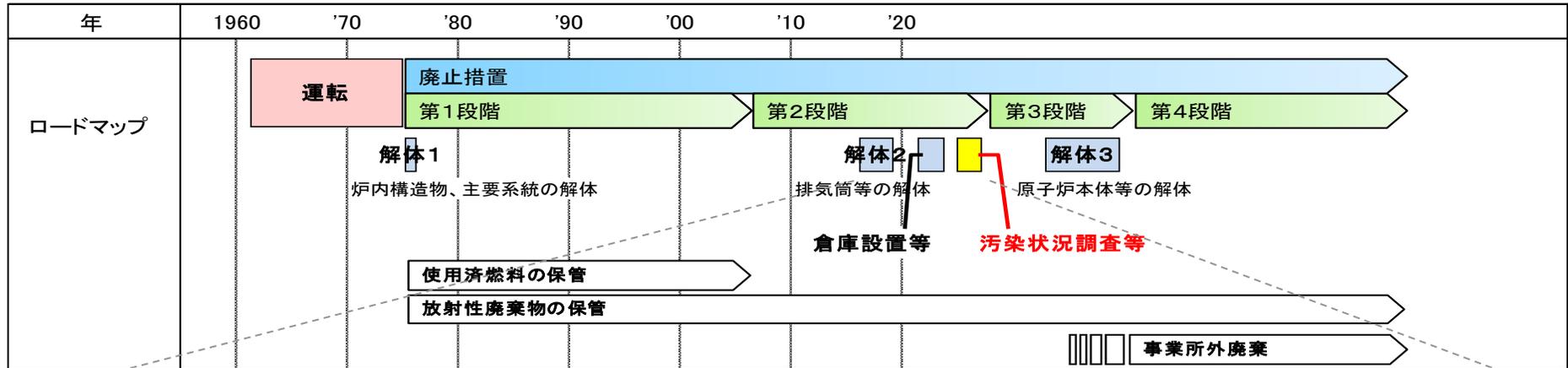
50Lは100Lに封入
200Lは350Lに封入
SUS
ドラム缶



角型金属容器

株式会社日立製作所王禅寺センタの老朽化対策について

②工程



2017上	2017下	2018上	2018下	2019上	2019下	2020上	2020下	2021上	2021下	2022上	2022下
	解体(排気筒、希釈槽等)							第4、第5倉庫の設置			
		解体(準備室等)							容器の二重化・廃棄物移動		
										原子炉室内解体	
										汚染状況調査等	

